



夢★きらめくに

No. 1

加東市／加東市人権・同和教育研究協議会 平成18年8月1日



「人権文化をすすめる市民運動」 人権ポスター優秀作品
鴨川小学校4年 大畑 洗紀さん

目次

- 加東市同教総会……………2
- 2006年加東市同教活動方針…3
- 推薦・新着ビデオ紹介……………4
- 子どもの人権と健全育成を考える講演会…9
- ポスター・標語優秀作品……………6
- 全国中学生人権作文コンテスト…8

発刊にあたって

加東市長 山本廣一

新生加東市は、「山よし・技よし・文化よし」夢がきらめく、元気なまち「加東」の実現に向け、一人ひとりが大切にされ、笑顔があふれ、心豊かで安心して暮らせるまちづくりに全力で取り組んでいるところです。

さらには、青少年の健全育成をはじめ、高齢者が長生きして良かったといえる社会づくりなどが責務と感しております。そのためには、お互いの人権を尊重することが基盤にあることはいまでもありません。

加東市では、今後、さらに人権教育・啓発に取り組む、市民一人ひとりの幸せが実感できるまちづくりに尽力してまいります。

平成18年度加東市同教役員

会 長	井上 正 通 (滝野地区長)
副会長	上月 嘉 和 (社地区長)
	片山 宏 門 (東条地区長)
	高橋 隆 子 (社副地区長)
監 事	門脇 紀 夫 (社地区)
	本田 泰 弘 (滝野地区)
	西山 一 彦 (東条地区)

平成18年度事業計画

事業名	期日・回数	内 容
総 会	5月19日	総会
理事会	年2回	計画、運営審議
常任理事会	随 時	重要事項審議
専門部会	年5回ずつ	班別研究など
研修大会	2月17日	研究報告など
夢きらめいて	年3回	第1号~3号
実践記録	2月17日	専門部会の記録
各地区学習	随 時	住民学習

五月十九日、社福祉センターにおいて、平成十八年度加東市人権・同和教育研究協議会（加東市同教）総会を開催いたしました。当日は、季節はずれの台風が接近する悪天候でしたが、一六六名の方がご出席ください、新しい組織となった加東市同教の事業計画案並びに予算、新役員等を承認していただきました。



加東市人権・同和教育研究協議会総会
 人と人がつながり、絆を深める人権のまちづくり
 21世紀を真の人権の世紀に！

就任のご挨拶

会長 井上 正 通



私は、以前に加東郡同和教育研究協議会等の事務局に、数年お世話になっていたことがありまして、各会長さん「あいさつ文をお願いします」とよく依頼したものです。この度、それを私が書くことになるとは、夢にも思っておりませんでした。

さて、二十一世紀は「人権の世紀」といわれてきました。が、人権侵害の問題につきましては、昭和四十年の「同和对策審議会答申」以来、同和問題の解決に向けて、熱心に取組が進められてきました。

加東市人権・同和教育研究協議会も、その例外ではなく、先人各位の並々ならぬご苦労のお陰で、組織・方針等が確立して、現在の素晴らしい加東市同教があると考えております。

これからは、これまでの同和問題を中心とした教育・啓発の成果を基盤として、人権

意識の高揚に努めなければなりません。とりわけ身元調査、インターネットへの差別落書き、子どもや弱者への攻撃等悪質な事件がいまだに後を絶たない現実には、私たちに人権に関わる様々な課題を突きつけており、今こそ「いのちの尊厳」に基づいた人権文化の確立が急務であることをものがたっております。

平成十四年三月に策定された「人権教育・啓発に関する基本計画」に基づいて、他人（ひと）の人権を大切にすることは心育に努めていかななくてはならないと考えます。「困っている人がいる」からではなく、「困る人がいない社会」をどう形成するかを考え、新市のキャッチフレーズ、「夢がきらめく・元気なまち加東」達成の一助になりたいと思っております。

「バリアフリー」より「ユニバーサルデザイン」、「障害を除去する」より、「最初から障害を作らない」そんな社会をめざしたいものです。

以上のことについて、勿論その器でないことは自覚しておりますが、最善の努力をいたしますので皆様のご指導、ご支援をお願いします。

加東市同教 重点目標

- (1) ぐらしに生きた人権・同和教育を創造する。
 - 一人一人の人権が尊重される家庭・地域づくりを推進する。
 - 地域社会の不合理な因習、慣習を改善していく。学校・園（所）において魅力ある人権・同和教育を創造する。
 - 保・幼・小・中・高の連携を強め、幼児・児童・生徒の発達段階や実態に即した人権・同和教育の実践をし、自尊感情を育む。
 - 魅力のある学習内容と効果的な学習方法の研究に努め、指導力の向上及び指導者自身の人権感覚を磨く。
- (2) 地区同推協との連絡をとりながら、住民学習の推進に努める。
- (4) 加東市企業人権教育協議会（加東市企人協）、その他関係諸団体との連携を図る。

- (5) 加東市同教及び各地区同推協の組織や体制づくりを検討する。

専門部活動

五月二十二日に学校教育専門部会を開催し、今年度の研究テーマ及び活動計画、役員等を決めました。これに基づいて研究を進めます。

学校教育部会

- ◆ 部長 吉田真子
（鴨川小学校）
- ◆ 副部長 高島純子
（秋津保育園）
- ◆ 書記 吉田ひとみ
（滝野中学校）
- ◆ 研究テーマ
豊かな人権感覚を育てる人権・同和教育を学校・園（所）の全領域でどう実践していくか
- ◆ 公開授業
社保育園（八月四日）
東条東小学校（十月下旬）
社中学校（十一月上旬）

社会教育部会

- ◆ 部長 亀田隆光
- ◆ 副部長 安田ミツル
- ◆ 研究テーマ
地域住民の人権意識を高める学習のあり方を求めてぐらしに生きる啓発と実践を
- ◆ 一班
◆ 班長 藤井 實
◆ 副班長 高橋隆子
◆ 書記 服部勝美
◆ 班員
片山宏門・藤本保宏・柴崎聰・竹本龍次・丸山信子・谷幸子・
- ◆ 研究テーマ
地域の不合理な因習・慣習



学校教育部会の様子

の改善策を図る啓発についての
一班では、昨年度に引き続き身近な生活の中の不合理な因習・慣習について考えます。自分達の身のまわりを点検し、偏見や根拠のない因習をとりあげて改善していくにはどうすべきか考えていきます。

二班

- ◆ 班長 亀田隆光
- ◆ 副班長 安田ミツル
- ◆ 書記 深田壽嗣
- ◆ 班員
藤原康子・藤本駿・岩崎哲男・松尾美智子・草壁美代子
- ◆ 研究テーマ
人権文化の土壌をつくりあげていく効果的な啓発活動について

二班も昨年度に引き続き、「加東の人権ゆかりの地マップづくり」と題して、三地区にある人権にゆかりのある場所について話を聞き、先人たちの人権尊重に対する理念についてまとめいきます。

推薦・新着ビデオ紹介

- ・加東市教育委員会人権教育課では、各種団体研修会並びに住民学習に使用できるビデオ教材を取り揃えております。
- ・地域活動や、地域行事の時などに、人権学習を絡めてお使い頂けるとありがたいです。お気軽にお問い合わせください。

私の好きなまち

誰もが体験しうる身近な問題を取り上げながら、「それぞれの違いを認め合い、共に生きる」「相手も思いやる」「夢をもって生きる」ことの大切さを私たちに訴えかけている。そして、同和問題を今日的な視点から見つめ直すことで、私たちの日常生活を人権の視点から考えることの大切さと、私たち一人ひとりが「人権文化に満ちた差別のない共生社会づくり」の主要であることを訴えている。



(35分)

未来への道標

〜ハンセン病とは〜

みちしるべ

かつて「らい病」と呼ばれ、恐れられたハンセン病。患った人は、強制隔離され、人間として扱われませんでした。一九九六年、強制隔離の根拠となる「らい病予防法」が廃止され、二〇〇一年には、国家賠償請求訴訟において国が行ってきた政策が過ちだったことが認められました。しかし・・・。

二〇〇三年に熊本県でおこったハンセン病療養所入所者に対するホテル宿泊拒否事件を始め、いまだに患者・回復者が偏見と差別にされていることが明らかになりました。

その根底にあるものは何なのか・・・。

(29分)

ご相談は

教育委員会人権教育課へ

加東市同教の組織並びに

地区住民学習について

三月二十日の加東市合併により、加東市同教も新しく組織づくりをしています。大きく異なる点は、旧来の三町同推協の組織を吸収したということです。

昨年度までは、社町同推協は、「社町人権啓発推進室」滝野町同推協は、「滝野町中央公民館」、東条町は、「東条町ふれあい推進室」に事務局をそれぞれ置いておりました。しかし、先の合併によりまして、旧来の三町同推協事務局を一本化し、加東市同教事務局を「教育委員会人権教育課内に置く」ということになりました。

そのため、従来の各地区で実施していただいています住民学習についても、加東市同教の事務局で実施することとなりました。従いまして、各地区での住民学習の推進や指導、助言等につきましても、加東市同教事務局である加東市教育委員会人権教育課にお気軽にご相談ください。

千夏のおくりもの

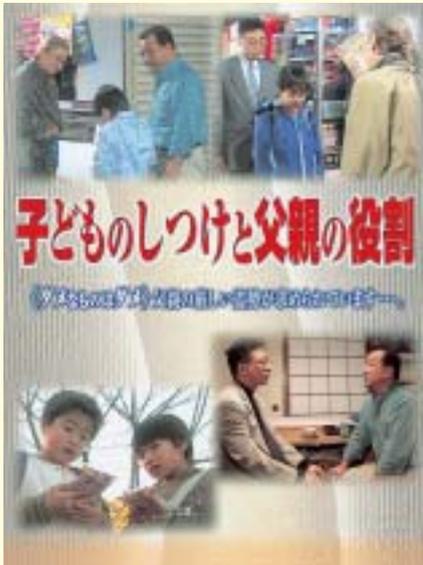
子どもの率直な疑問をきっかけに、日常生活のさまざまな出来事に潜んでいるおとな自らが無意識のうちに持っている「世間の常識」や「偏見」を問い直すことにより、改めて子どもや女性の人権問題についての正しい理解を深めます。



(54分)

子どものしつけと父親の役割

「嘘をつくな、弱い者いじめをするな」など、人として一番大切な基本的ルールやマナーの躰・教育を考え、父親の厳しい姿勢が求められています。



(21分)

よっちゃんの不思議なクレヨン

やさしい心、みんなのために奉仕する心、ごめんねという反省の心、自分だけの間違った欲張りな心、ありがとうという感謝の心、不思議なクレヨンが、いろんな心を教えてくれます。



(22分)

第三八期

人権文化大学開講

人権文化大学を七月六日に開講しました。第一回目は、兵庫県人権教育研究協議会長の堀井隆水様に「人権文化の創造」と題してご講演をいただきました。一般参加も歓迎しておりますので、お気軽にお越しください。



●これからの日程●

第三回 八月三日(木)

「笑いとすこやか人生」

三遊亭 楽団治

第四回 八月十七日(木)

「学び合いから見えてくるもの」

― 歩んできた道を語りながら ―

塚本 一男

第五回 八月三十一日(木)

「親しき仲にも人権あり」

― 人権尊重のまちづくりは家庭・地域から ―

茂木 美知子

第六回 九月十四日(木)

「ともに生きる人間関係をめざして」

好岡 輝寿

○場所 社福祉センター

○時間 午後七時三〇分

「人権文化をすすめる市民運動」

ポスター・標語優秀作品

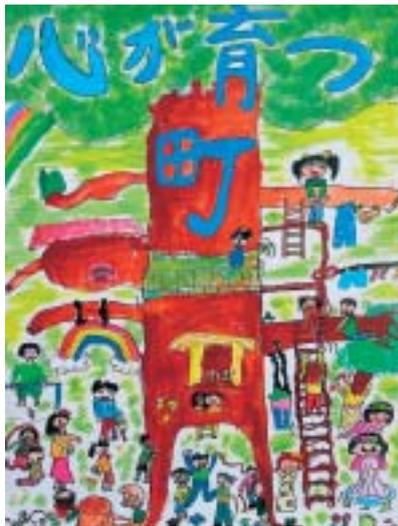
児童生徒の皆さんを対象に、「人権文化をすすめる市民運動」ポスター・標語の募集を行ったところ、ポスター134点、標語249点の応募があり、選考の結果、以下の優秀作品が決まりました。（敬称略）



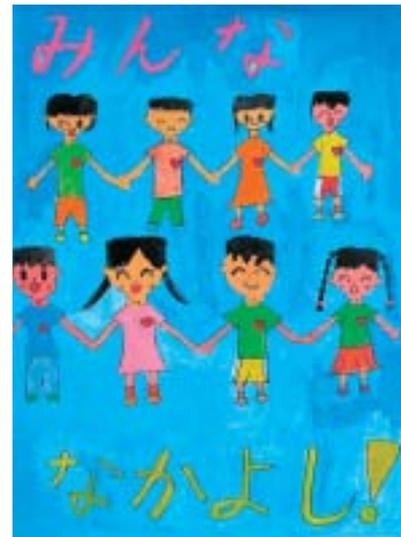
米田小学校 2年 佐々木 流己



福田小学校 5年 友藤 紗恵



社小学校 4年 藤本 景子



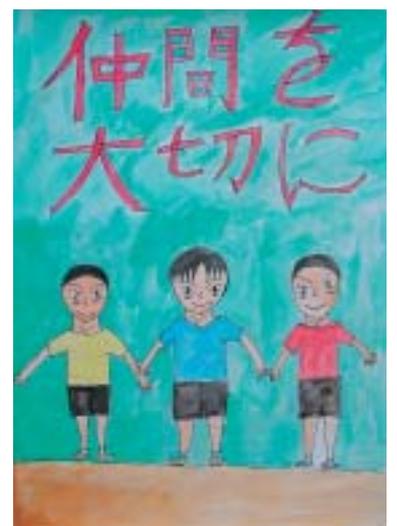
三草小学校 5年 村上 優春



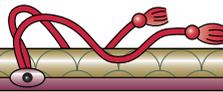
社中学校 2年 大畑 歩夏



東条東小学校 4年 松本 祐太郎



滝野東小学校 5年 中村 翔希



ありがとう ことばひとつで いい気分
社小学校 6年 岡本響子

「ごめんね」と その一言で 仲直り
福田小学校 5年 梅野聖奈

おばあちゃんが 作った野菜 おいしいな
米田小学校 6年 西村真帆

いじめはね してもされても さみしいね
三草小学校 6年 長谷川 祐規

あそぼうよ さそってみれば なかなおり
鴨川小学校 5年 松本 さおり

それでいい? 自分にそっと 聞いてみて
滝野東小学校 6年 森 彩佳

ごめんなさい ケンカの後の 一言を
滝野南小学校 6年 頃安 朱音

言っちゃだめだよ 一生心に 残るさず
東条東小学校 6年 小坂 詩音

人権は あなたもわたしも 持ってます
東条西小学校 6年 山本 有佑

つくらない 差別というなの 高い壁
社中学校 3年 山口 晶

ぼくわたし みんな地球の 宝物
滝野中学校 1年 渡邊 岳

助け合い 絆を深める 第一歩
東条中学校 2年 田中 葵



滝野南小学校 5年 西村 和起



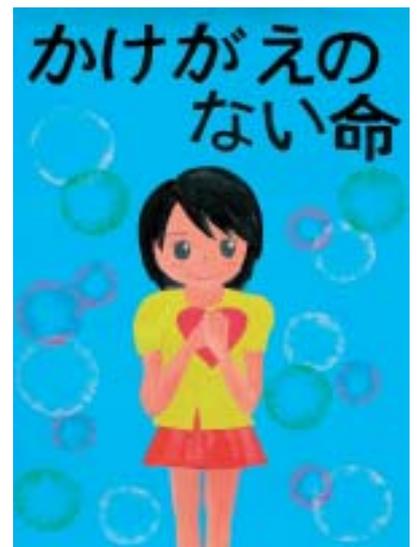
東条西小学校 6年 畑瀬 美早紀



附属中学校 2年 庭瀬 彩佳



滝野中学校 2年 菅野 元



東条中学校 3年 坂辻 千明

第25回 全国中学生人権作文コンテスト法務副大臣賞受賞作品

「梅雨に入った日」

埼玉県・松伏町立松伏第二中学校 3年 中里 琢さん

今年、関東地方が梅雨入りをしたのは6月10日の金曜日だった。僕はこの日を絶対に忘れないだろう。

僕の兄は障害を持っている。今年の3月、越谷養護学校の高等部を卒業した。そして、就職のために毎週木曜日、ハローワークに行き、そこで紹介された会社へ面接に行く。6月までに3度行った。結果は全て不採用だった。

兄は自分の障害を自覚している。不採用の通知が来ると、その日は落ち込む。でも翌日から「また木曜日にハローワークにいつてくる。」と明るい声で話す。

兄は僕に色々な事を話してくれる。面接の時、ハローワークの担当者に

「この子は言葉がはなせるんですか？」

「突然、暴れたりしませんか？」

と目の前で聞かれて悲しい思いをしたこと。その会社の一つは障害者雇用で日本でも有名な会社だったこと。

「僕はまだちゃんと喋れるけど、障害で筋肉をうまく動かす事が出来ないから、突然、大声を出すように見える人だっているんだ。みんな健全な人と同じように話したいんだ。何で分かってくれないんだろう？」

と兄はちょっと怒った口調で僕に話をした。

6月9日木曜日、兄はハローワークに行った。そこで紹介された会社は今までの中で家から一番近い所だった。自転車で5分、歩いて15分の距離だった。そして、翌日の6月10日、梅雨に入ったこの日、兄は母と一緒に面接に行った。学校から帰って来た僕を待っていたのは、嬉しさを隠しきれない兄の笑顔だった。

「採用されたよ。」の言葉をきっかけに兄の話は止まらなかった。本社は群馬にある20人位のねじを作る会社だということ。工場長が自分を一人の人間としてキチンと対応してくれたこと。実際に作業をさせてもらって、障害をもつ自分でもやっつけられる自信があること。頑張れば正社員になることができること。他のパートのおばさんたちも一人の人間として扱ってくれたこと。13日の月曜日から働けること。兄の話は止まらなかった。だから僕は、嬉しくてたまらなかった。

11日の土曜日、僕達家族は兄の就職祝いを兼ねて食事に出掛けた。途中で寄ったホームセンターで198円の中国製の傘に目を止め兄が母に聞いている。

「お母さんこれ買っていい？」

普段減多に物をねだらない兄にしては珍しいなど、僕は思った。三種類の色の中から一番地味な色を兄は選んだ。その日の夕食は本当に楽しく過ぎていった。

12日日曜日、お昼前に電話が鳴った。母が出た。電話している母の顔が曇った。涙声になった。電話は工場長さんからだった。「群馬の本社の社長に兄の採用を伝えたところ、もし万が一怪我でもしたら会社としては責任を取れない。と言われた。だから、今回は、採用を見合わせたい。」との電話だった。母からその話を聞いた兄は何も言わず2階の自分の部屋に上がっていった。昼食にも夕食にも兄は降りてこなかった。

夜遅く、目を真っ赤にして居間に降りて来た兄は何も言わずソファに座った。顔はテレビを向いていたが見ていないのは分かった。10分程して兄が母の方を向いて言った。

「お母さん、傘買っちゃってもったいなかったね。」

この時、お兄ちゃんの感情が僕に押し寄せてきた。自由のきかない手足で毎日1時間、自転車の練習をしているお兄ちゃん。お兄ちゃんの頭には自転車で出勤をしている自分が見えていたんだ。梅雨に入り、雨で自転車が漕げない日の為に、自分の新しい出発を祝って傘をねだったんだ。お兄ちゃんの目には雨の日に新しい傘を差して出勤をする自分が見えていたんだ。

この時、何故か、僕は自分自身に腹が立っていた。面倒くさがるの自分。提出物を出さず怒られてばかりいる自分。体力の無い自分。女子よりも握力の無い自分。兄のために何もできない自分。本当に無力の自分。

夏休みに入り、僕は6時に起きて1時間ウォーキングをしている。父に頼んで握力を強くする器具を買ってもらい、いつも握っている。提出物を絶対期限内までに出せるよう毎日、確認をしている。英検は合格した。次は漢検だ。でもまだまだ全然だめだ。

強くならなくてはいけない。家族に守られている僕が、いつか兄を守るために。障害を持つ人たちが悲しい思いをしないために。

僕は2005年の6月10日を絶対に忘れない。

「傘もったいなかったね。」僕はこの兄の言葉を絶対忘れない。

(「全国中学生人権作文コンクール入賞作文」より転載)

子どもの人権と健全育成を考える講演会



朗読劇「叱らずに受け止めて…言葉の持つ意味」



市長に法務大臣メッセージが伝達されました



社中学校1年 長井栄未子さん
「大切な言葉」



福田小学校6年 内藤真揮さん
「あいさつの輪を広げよう」



桂 才賀さん
「子どもを叱れない大人たちへ」

7月2日、「子どもの人権と健全育成を考える講演会」が滝野文化会館で開催されました。

犯罪や非行のない明るい社会を目指して、法務省が主唱する「社会を明るくする運動」への協力をお願いする法務大臣からのメッセージが小野加東保護区保護司会会長小野里二十三さんから山本市長に伝達されました。

次に入賞作文の朗読、そして社明運動東条支部のみなさんと子どもたちによる「叱らずに受け止めて…言葉の持つ意味」と題した朗読劇がありました。

また、桂 才賀さんが「子どもを叱れない大人たちへ」と題して講演され、『「叱る」とは相手の誤りを論ずることであり、自分にとって不都合なことが起きた時、その不満を相手につける「怒る」こととは全くちがう。叱る時には「怒り」を鎮め相手に対する愛がなければなりません』と語り、『子どもたちは自分が叱られているのか、怒られているのか敏感に感じ取っている。どうか叱れる大人になって欲しい』と熱く語られました。

人権トピックス

ご参加下さい

8月は「人権文化をすすめる市民運動」推進強調月間です

～生きがいと幸せを築きあう人間尊重のまちに～

すべての住民がお互いの人権を尊重し合い、部落差別をはじめ、あらゆる差別のない「生きがいと幸せを築きあう人間尊重のまち」の実現を目指しています。

多彩な催しを通じ、参加者の相互交流を図り、人権尊重に根ざしたものの見方や考え方を身につけ実践していく住民運動を展開しましょう。

心あったかいフォーラム

「8月10日 ハートの日」

やさしい心の花が どこかで ひとつ また咲きますように

- ☆ 日 時 平成18年8月10日(木) 午後7時から午後9時
 - ☆ 場 所 やしろ国際学習塾 L.O.Cホール
 - ☆ 内 容
 - ◎ 人権啓発ポスター・標語優秀作品表彰
 - ◎ 講 演 「春よ こい」
- ～ 箱廻し三番叟・えびす舞に思いをのせて～
講師 辻本一英 氏



福分け有

人権啓発展のご案内



加東市つつじまつり人権啓発展
社中央体育館 (5/27～5/29)

期 間	場 所	展 示 物
7月25日～7月30日	社公民館ギャラリー	人権啓発ポスター・標語作品
8月1日～8月9日	ショッピングパークBio (多目的ホール)	人権啓発ポスター・標語作品
11月上旬	滝野文化会館	保育園児作品展 (人権標語入り風船の配布)
11月上旬	東条体育館	//
11月3～5日	社中央体育館	保育園児・幼稚園児共同作品展 (人権標語入り風船の配布)
11月7日～11月18日	社公民館ギャラリー	保育園児・幼稚園児共同作品展

街頭啓発活動

- ☆ 日 時 平成18年8月4日(金) 午後5時から
 - ☆ 場 所 やしろショッピングパークBio
- 人権標語入り啓発グッズやうちわなどを配布します

発行

加東市 同和教育研究協議会

〒679-0292
兵庫県加東市下滝野1-2609-2
TEL 079-5148333
FAX 079-5148370